
おジャ魔女SOS！！！

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おジャ魔女SOS!!!

【Zコード】

N4740A

【作者名】

コーリ

【あらすじ】

「瀬川おんぶ誘拐事件」の続編です。前回おんぶちゃんを誘拐したワルジードが、今回はどれみちゃん達全員を狙います。

私の名前は春風どれみ。

ひょんな事から魔女見習いになつちやつた、小学6年生の女の子。見習い仲間には藤原はづきひちゃん、妹尾あいこひちゃん、瀬川おんぷちゃん、飛鳥ももこちゃん、そして赤ちゃんから6年生になつちやつたハナちゃんど、妹のぼつぶがいるの。

私達は今まで魔女修行を続けてきたけど、毎年大ピンチの連続だつた。この前なんか、おんぷちゃんが魔法使いに誘拐されて、あわや殺されそうになつちやつたの。私達が無事救出したけど、あのワルジードつて魔法使い、まだ何かを企んでそうなのよね。そんな事を考えながら、私はMAHO堂に向かつていた。

私がMAHO堂に着くと、あいこひちゃん達が集まつていた。何やら、変な手紙が来たようなのである。

どれみ

「どうしたの、みんな？」

あいこ

「実は、この前の魔法使いから手紙が来よつたんやー。」

どれみ

「で、その内容は？」

はづき

「えーとね・・・

「魔女見習い、よくもやつてくれたな。今度また、そつちに行く。オマエ達に復讐してやるから、覚悟しておけー。ギリング・ワルジー

「ド伯爵」

「」

「どれみ

「何それ、逆恨み?」

「おんぶ

「私達に負けたのをよつぱんじなんじるようね。おなじみのこじらかしありうもん。」

「ももこ」

「大丈夫かな? やりれないかな?」

「ハナ

「心配いらなによー! だつて私がやつつかしあうもん。」

「ぽりぽり

「やうよー。私だつてやれるわー。」

「マジヨリカ

「バツカモーン……よく考えてみー、相手が悪あがわー。」

「どれみ

「何事もなればいいけどね……」

「しぐじつたか、ワルジーデ……」

「ワルジーデ

「も、申し訳! やこませんー。」の私めに、今一度チャンスを! 必ずや魔女見習いの息の根を止めてみせます!」

「！」のバカモンが！誰が殺せと言つたか！！」

ワルジード

「は？・・・と申しますと・・・？」

「ヤツらを捕らえ、私の前に連れてこい！それがムリでも、データを収集してくるのだ！」

ワルジード

「は、はい！」

ワルジードが去った後、魔女は不敵な笑みを浮かべていた。

「私のカワイイ弟子達よ・・・もうすぐ、オマエ達を目覚めさせてやるぞ・・・フフフ・・・アハハハハ！！」

それから一週間、どれみ達は謎の視線に監視されていた。そしてしばらくたつたある休日・・・

あいこ

「ハアハアハア・・・早う行かんと、遅れてまう・・・」

ワルジード

「遅れてもいいでしょ？あなたは私の所に来るのですから・・・」

あいこ

「な、なんやて！？あ、ワ、ワルジード！？」

ワルジード

「悪いですが、しばらく眠つていてもらいましょう・・・」

バリバリバリツ！！

「キヤアアアア～ッ！！」

・・・。

あいこはワルジードにスタンガンを当てられ、 気絶してしまった。

ももこは、後ろから薬を嗅がされた。

毛毛

...! ג' עלי...

• • •

はつきは、幽靈に驚いて失神してしまつた。

ばづき

バタツ・・・。 イヤア・・・・。 オハケはタメエ・・・・。

ぱつぱは、散歩の途中に後ろから袋をかぶせられた。

ぱつ
ふ

「うわ....」

九
ハ
ツ
・
・
・

ハナは、穴から出てきたクモの糸に巻かれて吸い込まれてしまった。

八
十

「キャツ！！」

シュルルルル。スポット。

数分後、MAHO堂にメールが来た。

『あいこ姫、ももこ姫、はづき姫、ぽつぽ姫、ハナ姫はいただきました。残るはあなた達だけですよ、どれみ姫とおんぷ姫。』

どれみ

「あいちゃん達がみんなやられちゃうなんて・・・」

おんぷ

「どれみちゃん、空に逃げましょ！」「やつらヤツでも、空の上にいれば攻撃できないわ！」

どれみとおんぷは、ホウキに乗つて空に上った。しかし、ワルジードがゆっくりと、2人の後ろをつけていた。。。

ワルジード

「フフフ・・・下に落ちるがよい・・・」

ワルジードが杖を振ると、電撃が飛んでいくて、2人のホウキを破壊した。

どれみ・おんぷ

「キヤアアアア～ツ！～！」

真っ逆さまに落ちた2人は、ワルジードが出した網に包み込まれてしまった。

ワルジード

「フフフ、これで全員捕まえた。」

数分後、どれみとおんぷは、倉庫に連れてこられた。そこには、はづき、あっこ、ももこ、まつぶ、ハナが縄で柱に縛り付けられていた。

はづき

「どれみちゃん、おんぷちゃん…」

あっこ

「2人とも、捕まつてしまふたんか！」

どれみ・おんぷ

「ごめんなさい…」

どれみとおんぷも、柱に縛り付けられてしまった。

ワルジード

「フフフ…これでマジヨボルト様に手みやげができる…オマハ達の呪文のデータ、いただくぞ…！」

そう言つと、ワルジードはスイッチを押した。ヘルメットがついた変な機械が伸びてきて、どれみ達の頭に張り付いた。

ワルジード

「こや、データ収集…！」

機械がどれみ達をしごれさせた。

どれみ達はグッタリした。ワルジードは収集した液体をビンに入れ
た。

ワルジード

あれは、才人達の役目は終わった

ワルジードが杖を振ると、布が飛んできて、どれみ達の口を塞いだ。

「ん~、ん~ー。」

ワルジード

卷之三

「ん~!!~」
「れみ・ほりき・あい」・おんふ・もも」・ハナ・ほ~ふ

？？？
どれみ達が悲鳴をあげた頃、倉庫の上空に女の子が飛んでいた。

「ハシードは、おまえのことを、心配してたんだよ。」

突然、雷がワルジードに落ちた。

ワルジード

ワルジードは逃げていった。謎の少女は、再び呪文を唱えた。

？？？

「パウラピラルペルペルパウピウレ！…どれみちゃん達の縄よ、消えろ！…」どれみ達は、突然縄が消えたので、そのまま逃げ出した。

ワルジード

「マジヨボルト様、呪文のデータを手に入れてきました。」

マジヨボルト

「フフフ・・・」ぐるうだつたな・・・

次の瞬間、ワルジードに閃光が走った。
ワルジード

「な・・・なぜ・・・」

ワルジードは絶命した。その後ろには、謎の少女がいた。

マジヨボルト

「よくやつた、マナ。」

マナ

「はい。」

マジヨボルト

「フフフ・・・魔女界をたたきつぶす時は近い・・・」

(後書き)

どれみちゃん達、今回も大ピンチでしたね!どれみちゃん達を助けた謎の少女、そしてマジヨボルトの野望・・・すべては次回からの連載に持ち越しです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4740a/>

おジャ魔女SOS!!!

2010年12月8日10時44分発行